

# 臨時部長会議開催結果 概要

●日時	令和8年2月10日（火）午後1時30分から午後3時40分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 石原副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 税務担当部長	■ 暮らし安心部長
	■ 文化スポーツ部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長
	■ はだの魅力づくり担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長
■ 教育部長	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長			
●会議	<p>1 市長あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和8年3月秦野市議会第1回定例会議提出議案等について [総合政策課・財政課]</p> <p>(2) 庁議における付議事案書様式の見直しについて [総合政策課]</p> <p>(3) 大根中学校区学校整備構想（案）について [教育総務課]</p> <p>(4) 国の学校給食費の抜本的な負担軽減への対応等について [学校教育課・保育こども園課]</p> <p>(5) 小学校給食のセンター給食化について [学校教育課]</p> <p>(6) 防災服に係る運用方法及び総合防災訓練開催日の変更について [防災課]</p> <p>(7) 秦野市公共施設再配置計画第2期基本計画後期実行プラン（案）の作成及び秦野市公共施設保全計画【別冊】の見直しについて [行政経営課・公共建築課]</p> <p>(8) 秦野市みどりの基本計画（案）について [環境共生課]</p> <p>(9) 第3次秦野市環境基本計画の中間見直しについて [環境共生課]</p> <p>(10) 秦野市地球温暖化対策実行計画の中間見直しについて [環境共生課]</p> <p>(11) 秦野市地下水総合保全管理計画の中間評価について [環境共生課]</p> <p>(12) 秦野市都市農業振興計画（案）について [農業振興課]</p> <p>(13) 指定金融機関派出所の廃止について [会計課]</p> <p>(14) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]</p> <p>3 その他</p> <p>東・北両中学校区における義務教育学校設置に向けた対応について [教育部長]</p>			
●会議概要	<p>1 市長あいさつ</p> <p>・先月25日に市長選挙、今月8日に衆議院議員総選挙と、短期間で二つの選挙が執行された。また、衆議院議員総選挙の投票日とも重なったが、土日は秦野市内でも降雪・積雪となった。建設部では、日曜日の早朝から道路の凍結対応に当たってもらい、月曜日には、市役所敷地内の除雪作業を総務部中心に対応してもらった。</p> <p>・新年度の予算編成に当たっては、例年とは違うスケジュールの中、先週3日から6日までに、部局別とリーディングプロジェクト、合わせて9コマの予算査定を終え、新年度予算をまとめることができた。</p> <p>・一般会計の令和8年度当初予算は、現時点では、過去最大規模の投資とな</p>			

る 671 億 4,000 万円で、今年度が 640 億 7,000 万円であったため、31 億円弱の増となり、全会計では、1,128 億 8,100 万円となる。財政課をはじめ、対応していただいた部局長に改めて感謝する。

- ・今日は、今月 26 日から始まる、第 1 回定例会月会議を控えた臨時部長会議となる。

- ・ 3 月議会に当たり、本日午前の市民創和会との懇談会を皮切りに、来週 16 日までに各会派との懇談会を行い、18 日に正副議長に当初議案の申入れ、翌 19 日に施政方針とともに、議案を発送する予定である。

- ・ 詳細については、この後の部課長会議で説明があると思うが、私の令和 8 年度における、市政に臨む基本方針を共有する。

- ・ まず、災害対策についてである。先月 11 日に、大倉尾根で林野火災が発生したが、消防職員や消防団員による消火活動、更には、他市の消防機関、自衛隊と連携し、2 日後には鎮圧させることができた。

- ・ 引き続き、広域連携や地域コミュニティの強化などにより、自助・共助・公助の相乗効果を発揮させることで、あらゆる災害から、市民の命と安全・安心な暮らしを守っていく。

- ・ 社会経済情勢では、今なお続く物価高騰が、市民生活や経済活動に様々な影響を及ぼしている。国の総合経済対策と連動した物価高騰対策として、子育て応援手当の支給、6 か月間の水道料金の減額を実施するが、引き続き、市民の暮らしを守り、地域経済活動を支援する効果的な施策を適時適切に行う。

- ・ 令和 8 年度は、秦野駅北口の県道 705 号の対面通行開始、数年後には、新東名の全線開通と秦野丹沢サービスエリアの開設が予定され、秦野市は、まちづくりの大きなターニングポイントを迎えている。

- ・ 秦野駅北口周辺では、中心市街地活性化の絶好のチャンスと捉え、様々な出会いや交流を育み、ハローワークも入る多世代交流施設の整備や、ホテルなど、商業・業務系施設の誘致を進め、新たな賑わいを創り出す。

- ・ また、4 駅共通の取組として、OMO T A N コインの活用促進や賑わいづくり活動を後押しする支援を行うなど、各駅の特色を生かした「にぎわい創造」を進めていく。

- ・ 秦野丹沢スマートインターチェンジ周辺では、戸川土地区画整理事業と矢坪沢水路整備、都市計画道路・菩提横野線の整備を三位一体で進め、事業用地の価値を高め、優良企業を誘致することで、新たな雇用の創出・職住近接につなげていく。

- ・ また、来訪者の滞在日数を延ばす取組として、登山やスポーツクライミング、観光農園など、表丹沢ならではの体験コンテンツ、夜は街中で飲食を楽しみ、市内に宿泊する。翌日は、まち歩きや弘法山、震生湖、頭高山をハイキングし、最後は温泉でゆっくりとくつろぎ、お土産に秦野ブランドや新鮮でおいしい農畜産物を買って帰るといった、秦野の魅力を満喫する「OMO T A N スタイル」を築いていきたい。

- ・ 女性と子どもが住みやすいまちづくりでは、これまでの取組を更に加速さ

せ、産後ケア事業の拡大や妊産婦健康診査の費用助成、学校体育館への空調設備の導入など、安心して子育てできる環境をハード・ソフトの両面から充実させるとともに、若者世代や子育て世代の移住・定住を促進する支援策に、引き続き、取り組んでいく。

・今、秦野市では、トレイルランや水無川の河川敷など、四季折々の自然を感じられる、恵まれたランニング環境に惹かれ、移住や二拠点生活を選択される方が増えている。この方たちが新たなコミュニティを育みながら、秦野ならではのライフスタイルを発信していただいている。

・都心からのアクセスが良く、自然豊かな秦野の住みやすさに更に磨きをかけ、「行ってみたい」、「住んでみたい」、「いつまでも住み続けたい」と思っただけの「全国屈指の森林観光都市」を目指していく。

・また、今年、総合計画後期基本計画がスタートする年となる。これまで取り組んできたプロジェクトを更に充実させるとともに、市民のウェルビーイング向上に向け、「ふるさと秦野」を次のステージへ展開させるため、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブ、デジタル社会の実現、秦野名水の利活用など、秦野の特色を生かした持続可能で快適な暮らしを実現する、新たな「はだの」の創造に向けた取組を進めていく。

・しかし、これらの取組は、財政の健全化を前提としたものでなければならない。

・部局長には、施政方針をしっかりと熟読してもらい、内容を共有した上で、第1回定例月会議、そして、新年度に臨んでもらいたい。

・今議会は、予算の審議を中心に、長丁場の議会となる。最後まで気を緩めることなく、万全の準備で、部局内、部局間の連携を密にしながら、それぞれしっかりと説明責任を果たしてほしい。

・最後に、インフルエンザが流行しているため、体調管理には十分留意してもらおうとともに、職務の遂行と議会への対応を重ねてお願いし、部長会議に当たってのあいさつとする。

## 2 報告事項

### (1) 令和8年3月秦野市議会第1回定例月会議提出議案等について

[総合政策課・財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

### (2) 庁議における付議事案書様式の見直しについて

[総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

意見. 政策会議の様式において、関連する個別計画及び成果指標を記載する欄を設けることを検討してもらいたい。

### (3) 大根中学校区学校整備構想（案）について

[教育総務課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 構想案そのものの修正ではなく、実務的な部分でお願いしたいことだが、案の中に木質化に関することが入っていない。

本市には毎年、森林環境譲与税が入ってきており、概ね森林ふれあい課の事業で活用しているが、財源として活用できる可能性があるかもしれないため、検討してもらいたい。

また、この構想案に限ったことではなく、民間事業になるとはいえ、休日夜間急患診療所等の建て替えに当たっても、木質化には触れられていなかった。環境産業部だけが言っている、森林観光都市は実現しないため、「木」というものを念頭に置いて、ソフト事業でも構わないため、検討してもらいたい。

答. 可能な限り検討していきたい。

問. 大根中学校のテニスコートはどこにあるのか。

答. 資料の6ページに平面図があり、地図内北側にメイングラウンドがあるが、そこから道を挟んで右側辺りに位置している。

(4) 国の学校給食費の抜本的な負担軽減への対応等について

[学校教育課・保育こども園課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(5) 小学校給食のセンター給食化について

[学校教育課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(6) 防災服に係る運用方法及び総合防災訓練開催日の変更について

[防災課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 防災服に係る変更点について、「ビブス又は作業着等を併せて着用すること。」とあるが、ビブスは現在備蓄している数で問題なく対応できるのか。

答. 国勢調査で使用したものが500着ほどあるため、これを避難所に配備していく。

問. 作業着等とは、OMOTANのポロシャツやTシャツなども含まれるのか。また、その場合、ビブスの着用は不要ということで良いのか。

答. OMOTANのポロシャツなども含まれる。

問. 回収した防災服はどのように扱うのか。

答. 部長級以上の防災服の交換用として保管する予定である。

問. かなりの数があると思うが、廃棄するという事はないのか。

答. 運用するという形で考えている。

問. 編み上げ靴はどのようになるのか。

答. 防災服とセットでの着用となるため、一般職員については、防災服と併せて回収となる。

(7) 秦野市公共施設再配置計画第2期基本計画後期実行プラン（案）の作成及び秦野市公共施設保全計画【別冊】の見直しについて

[行政経営課・公共建築課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 公共施設保全計画について、当初策定時と比べて耐用年数が全体的に伸びているのか。それとも、調査の結果、年数自体は変化していないのか。

答. 特に劣化度調査を実施したものについては、詳細なコンクリートの調査をした中で、耐用年数が伸びているものもある。

問. 10 ページの「3 計画期間」について、策定から5年が経過し、元々の40年間から35年間となったが、また5年が経過した際は、30年間となるのか、それとも10年延ばして最終的に40年間として考えていくのか。

答. 計画期間そのものは、令和3年度から令和42年度までの40年間という中で、経過した5年間を除く、令和8年度から令和42年度までの35年間の見直しを行った。

再配置計画の基本計画は10年ごとの計画となるため、そのタイミングに合わせて、また見直しを行っていくこととなる。

意見. 長期の計画でやっており、例えば10年経った時にその計画期間が30年になってしまうような考えは違和感があるため、検討してもらいたい。

問. 11 ページの「4 見直しの主な視点」(1)にある鶴巻排水機場の減築について、保全計画の対象となる建築物は延べ床200平方メートル以上という条件があるため、一部除却したところ、対象から外れたという認識で良いか。

答. そのとおりである。

問. (2)の更新周期の見直しで、外壁とポンプ類がそれぞれ5年ずつ伸びている。理由のイメージとしては、製品の能力が上がり、耐用年数が伸びたなどであるが、改修履歴はどのように影響するのか。

直近で改修した外壁などが問題なく25年経過していて、性能的に担保できたというようなことか。

答. そのとおりである。実際、確認をしている中で、設定している周期自体を延ばしてもいいのではないかと考えられるものがあった。

ポンプなどは、傷みが少なかったということもある。

問. ポンプなどの設備は 20 年もたないようなイメージもあるが、問題ないのか。

答. ポンプ自体の性能も良くなっており、そういったことも加味して延ばしている。

問. (3)試算終了時期の変更について、整備時期が耐用年数よりも後となるケース 1 の場合、維持補修費の試算終了年は耐用年数を迎える年と同じとするとのことだが、この時点から整備時期までの期間は何も考えないということか。

答. 試算終了後の維持管理については、必要に応じて検討していくこととなる。

意見. 試算が終了するため、何もしないといっても、整備されるまで施設としては在り続けることとなるため、よく検討してもらいたい。

(8) 秦野市みどりの基本計画（案）について [環境共生課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

意見. 都市部の方で所管しているまちづくり条例を、時代に即した形で見直しているところである。見直しの項目の一つとして、緑地面積をどうするかというところを検討しているため、担当部署としっかり打ち合わせを行い、齟齬のないよう、調整してもらいたい。

問. 現計画の計画期間が終了するというところで、総括したものは別に用意されているのか。

答. 資料 2 として添付した計画案の 49 ページに「前計画の進捗状況」ということで、目標値に対しての評価を掲載している。

問. ここを読めば 20 年間の成果が記載されているということか。

答. 数値的なものは記載されている。

問. 計画の中に入れなくとも良いが、数値だけでなく、20 年間の成果を文章的に起こしたものはないか。

答. 主要な施策については、52 ページ以降に掲載している。

(9) 第 3 次秦野市環境基本計画の中間見直しについて [環境共生課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

意見. 資料 6 ページの「6 現計画の中心的取組における進捗状況と評価及び新規数値目標の設定（案）」で、「水源の森林エリアにおける森林整備（奥山を除く）面積」の目標値を見直した理由を「林業事業者が経営方針を変更したため」としているが、市の施策に係る目標値を見直した理由としては相応しくないため、整理してもらいたい。

(10) 秦野市地球温暖化対策実行計画の中間見直しについて [環境共生課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(11) 秦野市地下水総合保全管理計画の中間評価について [環境共生課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 計画上に目標値は設定されていないのか。個別施策についても具体的な数値目標を設定するべきではないか。

答. 地下水マネジメントにおいて具体的な数値目標を設定しており、個別施策は、この目標の達成に向けて進めていくものとなる。

(12) 秦野市都市農業振興計画（案）について [農業振興課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(13) 指定金融機関派出所の廃止について [会計課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(14) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 資料1 ページの2番、資材置き場整備事業を行う翔建とはどのような事業者か。

答. 市内で土木業を営む会社であり、市の入札にも参加している。